

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども療育センターきらりん

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 2025年 3月 8名 回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	8					
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7		1			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	8					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6			2		支援計画には、訪問先の意向が盛り込まれているが、説明が足りなかったと感じる
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			2		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6			2	訪問先施設に配慮した支援とはなにかが分からない	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6		1	1	家で実践できることや、支援での様子などを教えていただいた	
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	8				毎回、活動のねらいが違っていて、こどもが成長できる環境を作ってくれていると感じた	
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			1		毎回の報告が、メールで行うことが多いため、直接保護者の方と話す機会が少ないため、相談援助に対する周知がされていなかった部分がある
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	8				メールで質問をするとすぐに回答をしてもらえた	
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8					
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8				常に細かい部分まで報告をいただいていたので子どもの様子がよくわかった	
非 常 時 等 の 対 応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8					
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6			2		今後の検討課題
満 足 度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1				
	27 こどもは訪問支援を嫌がりませんか。	8				毎回、とても楽しみにしていた	
	28 事業所の支援に満足していますか。	8				半年間で子どもの成長を感じているので満足している	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				2025 年 3 月 31 日	
こども療育センターきらりん						2025 年 3 月 12 名	回収数 12 名
チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	12			<ul style="list-style-type: none"> ・質問には的確な答えと、こうすれば良いなどのアドバイスがもらえ、すぐに保育に取り入れられる内容だった ・関わり方に難しさがあると感じていたが、助言をもらって解消できた ・毎回、困りごとに対して答えをいただき、気持ちが楽になった ・プロセスや理由が明確で分かりやすかった ・日々の様子に対する的確に助言をいただき、保育に生かすことができた 	お子さんの行動から読み取る事柄、それらから導き出される発達課題を分かりやすく伝えられるように、今後より一層の努力を重ねます		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	12			<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの様子を見たり、担任の話からすぐにどのような遊びが必要か、そのために必要な援助とは何かをすぐに答えてくれた ・子どもさんの支援を考える上で、視点やポイントを的確に説明していただき参考になった ・子どもの伸ばしたい力をどのような遊びを取り入れると良いかが知れた ・遊び方、取り入れられる運動遊びなど、勉強になった ・個の特性に応じた対応方法がとても勉強になった ・実際の療育場面を見学することで、お子さんへの伝え方、関わり方など保育の参考になった 	なぜこの遊びが必要なのか、なぜこのように関わったのかについて、具体的に分かりやすい説明に努めます		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	11	1		<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に、分かりやすく答えていただきとても参考になった ・質問の場に参加できなかったので分からないが、実践で役に立つ内容だった ・今後の関わり方を明確にすることができた ・こどもの理解が深まった 			
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11	1		<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスいただいた方法を取り入れたことで困りごとが解消された ・担任ではないためどちらとも言えないが、保育をする上で励みになることは多いと思う ・お子さんがどのような点でつまづいているのかを知ることができた ・常に課題や困りごとが尽きない中、訪問支援のたびに解消、軽減されることが有意義な時間だった ・アドバイスをもらいながら、優先して取り組むべき課題が明らかになり、保育に活かせた 	対象児だけでなく、クラス集団を意識し、必要な対応について手がかりになるような助言に努めます		
5 事業所からの支援に満足していますか。	12			<ul style="list-style-type: none"> ・客観的に見ることで、今まで気づけなかったお子さんの姿を見ることができたり、アドバイスにより悩みを解決できたり、お子さんにとっても職員にとっても貴重な時間となった ・自分だけでは気づくことができなかった点が様々あり、感謝の気持ちでいっぱいです 	様々な特性を抱えた多様なお子さんを保育して下さっている先生方が、少しでも悩みを解消し、お子さんの育ちを支えていただけるような支援を心がけます		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援を利用する際、受給者証の取得が必要になるが、抵抗のある保護者が多く、母親は希望をしていても父親・祖父母の反対により、利用ができない方もいる ・見学させていただく中で、支援員の言葉選び、反応、表出方法などに狙いや意図があると思うが、若手の職員の場合、それを汲み取り、意味を読み取るには解説が必要だと感じた ・クラスの中でのお子さんの様子に対するアドバイスや支援方法の相談がしたい ・クラス運営をする中で、これで良いのかと迷いながらだったが、訪問支援の中で、助言をいただき実践する中でお子さんが変化していくと、モチベーションを保ち、子どもの可能性を引き出すことができた 					<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援の在り方について、担当部署とも情報を共有し、より有意義な事業となるよう努力します ・お子さん個人の課題や目標を見出すだけではなく、クラスの中にいるお子さんの支援に生かせるような助言に努めます 		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こども療育センターきらりん		2025 年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3			
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			
業務 改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	3			
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	3			
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2	1	第三者評価を導入していない	第三者評価については検討課題
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	3			
適切 な支 援の 提 供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	3			
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			充分に意識しているつもりだったが、支援計 画の説明時に、保護者への説明が足りなかつ たため、今後の課題
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3			
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	3			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	3			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	3			
関 係 機 関 や	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	3			
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	3			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			

保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		少人数でのテーマ別座談会など、要望が多いため検討したい
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			メールでのやりとりが主になるため、定期的に直接お話しする機会を設定したい
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		2		今後の検討課題
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			支援に入る前、支援に入った後、担任の先生と十分な時間をとっている
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2		毎年、全職員を対象に研修を行っている

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育センターきらりん		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 30日～2024年10月7日		2025年 3月 10日～2025年3月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		～ 2025年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2024年 9月 30日～2024年10月7日		2025年 3月 10日～2025年3月17日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な支援員、作業療法士がチームを組み、多職種で連携して支援に入っていること	取り入れる活動の内容や、お子さんへの関わり方など、常に職員間で情報を共有し、話し合ったうえで支援に入っていること(それぞれの専門性が活かされていること)	支援先からの相談内容、それに対する回答などを、訪問支援に携わる職員だけでなく、事例検討などで法人内で共有すること
2	長年療育に携わってきたスタッフが、保育現場ですぐに生かせる相談援助ができること	お子さんの発達課題に応じ、必要な要素を組み入れた遊びの提案ができるように準備していること(特別な内容ではなく、日々の保育で取り入れられる物を意識していること)	お子さんの発達課題に合った遊びについて、法人内の事業所間で情報交換を行い、常に適切な遊びの提供ができる資質を備える
3	特別な支援の必要なお子さんを多く受け入れしている園と、普段から連携ができていること	同一事業所内で運営している、児童発達支援の利用児について、保護者の方の要望や園からの申し入れにより、園訪問を実施し、連携を重ねていること	今後も、園との連携を深め、常に相談し合える関係を築く

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育内容やお子さんの様子、園との連携についての内容が保護者の方に伝わりにくいこと	保育所等訪問支援のみを利用されている方については、直接お話をする機会が少ない事	定期的に(2ヶ月に1回程度)、お電話で直接報告をする機会を設け、訪問園との連携内容や、療育での様子、今後の課題、家庭生活での様子などを共有する
2	情報発信が不足 各種マニュアル、安全計画、研修会の案内等の情報が周知されていないこと	契約時の説明が不十分	全ての保護者の方に利用していただいている連絡アプリを活用して、情報を確実に届ける工夫が必要
3			